

(概要版) 互いに尊重しよさを認め合える

人間関係をはぐくむ学級活動の工夫

—小学校学級活動に「デジタルいいとこさがし」を取り入れて—

長期研修員 石森 孝子

主題設定の理由

学級活動において

- ・児童が学校生活に充実感や達成感を味わえるように工夫したい
- ・望ましい集団活動や体験的な活動をさせるための工夫が不足している

そこで

- ・友達の行動に目を向けさせたい
 - ・互いによさを伝え合うきっかけをつくりたい
- 工夫するために
- デジタルカメラの特性を生かした活動

本研究の中心活動 ～「デジタルいいとこさがし」のねらい～

1 デジタルカメラを活用した学級記録

- ・友達や学級について知るきっかけとなる

2 友達のよさを見付ける活動

- ・友達のよさや大切さに気付く
- ・共感的な姿勢をもてる

3 友達のよさを伝える活動

- ・自他のよさや可能性に気付く
- ・互いによさを認め合う

研究の構想

互いに尊重しよさを認め合う人間関係をはぐくむ学級活動の充実

自分や友達のよさが分かった
もっとみんなと仲よくなる

望ましい人間関係を経験
する活動が充実した

教師：望ましい集団活動や体験的な活動が工夫できる

児童：友達や自分のよさが分かり、互いに大切に思い、分かち合える

様々な場面で
活動を繰り返す

小学校学級活動における
「デジタルいいとこさがし」

手だて1
デジタルカメラ
を活用して学級記
録写真を撮り合う

手だて2
友達のよさを
見付ける活動

手だて3
友達のよさを
伝える活動

望ましい人間関係をはぐくむ活動の工夫が必要である

仲間に入りた
いけれど声を
かけにくいな

児童の実態

友達の気持ち
を確かめたい
けれどどうす
ればいいかな

児童同士の
関係を深め
る場面を工
夫したい

教師の課題

よさを認め
合える場面を
工夫したい



〈A〉 事前学習

写真のとり方を工夫する
よい写真って？

写真の撮り方を示した
提示資料

写真のとり方を工夫する

・友達をききながら、気をつけることが大切です。

・写真に言葉をのぞくと、伝えたいことがはっきりと
伝わります。

写真の扱い方や注意点を
示した提示資料

写真を撮るとき
に、気をつけよう
と思った。

手だて1 デジタルカメラを活用して 〈B〉 学級記録写真を撮り合う

活動のポイント

- カメラを向けることや写真によって相手のよさを印象に残すことができる

①自分の係活動【3日間】

2～4人の係のメンバー全員を必ず撮ります。

②学級の係活動【5日間】

自分の係でグループとなって、他の係を撮ります。

③給食時間

生活班の友達全員を撮ります。

④清掃活動

掃除の時は、交替で撮ります。

⑤休み時間

仲よく遊ぶ友達に注目しました。

みんなが、がんばっていることが分かった。
たくさんいいところを見付けることができた。

手だて2 友達のよさを見付ける活動 〈C〉 様々な場面でよさを見付け合う 「いいとこカード」に見つけたことを書く

活動のポイント

- 写真を撮り合う活動によってコミュニケーションができる
- 相手を思いやる言動を意識できる

活動方法を示したワークシート

**ワークシート 1
書き方を示した**

**ワークシート 2
グループ活動用**

あまり話したことが
ない子と話して、楽しかった。

カメラを譲り合う、使い方を教え合う、写すときに声をかけるなど、互いにコミュニケーションを取り、相手のことを考えた言動ができた。

声を掛け合ったので、お互いの気持ちが分かった。

全員が写真を撮ってもらったことを確認するシート

「写真を撮ってもらった チェックシート」		※互いの係で撮った自分の係員、自分の係員に撮られた自分の係員を○でマークしよう。	
1	○○○○	21	☆☆☆☆
2	△△△△	22	○○○○
3	○○○○	23	○○○○
4	☆☆☆☆	24	△△△△
5	○○○○	25	☆☆☆☆
6	○○○○	26	○○○○
7	△△△△	27	○○○○
8	△△△△	28	△△△△
9	☆☆☆☆	29	☆☆☆☆
10	☆☆☆☆	30	☆☆☆☆
11	○○○○	31	○○○○
12	△△△△	32	△△△△
13	○○○○	33	☆☆☆☆
14	☆☆☆☆	34	☆☆☆☆
15	○○○○	35	○○○○
16	△△△△	36	△△△△
17	△△△△	37	☆☆☆☆
18	☆☆☆☆	38	○○○○
19	☆☆☆☆	39	○○○○
20	○○○○	40	△△△△

〈H〉 事後学習

活動を振り返り、自分のよさを生かして今後できることを考え、班で話し合っている様子。

本活動が、児童の今後の活動につながるようにまとめた。

これからもみんなのためにがんばりたい。

同じ場面設定（手だて1 ①～⑤の場面）で 期間を決めて 同じ活動（〈B〉～〈G〉）を 繰り返す

〈G〉 提出する

生活班ごとに提出できるようにファイルを用意した。

コンタクトシートやチェックシートを置き、活動できるようにした。

〈F〉 自分の思いを書く

自分のいいところが分かってうれしいな。またがんばろう！

見付けてくれて、ありがとう。

〈E〉 友達の写真を貼る

写真を貼って、友達に渡します。

友達のいいところをできるだけ詳しく書いた。

**手だて3 友達のよさを伝える活動
〈D〉 帰りの会で発表する**

活動のポイント

- 自他のよさに気付くことができる
- よさを表現しよさを認め合うことができる

一人10秒くらいで、1日に8人～15人くらい発表をした。

がんばった写真が映って、うれしかった。

短時間で発表できるように、例示しておいた。

発表する児童が多くなった帰りの会。

発表するのが、楽しかった。

コンタクトシートの写真の順に並んで発表させるようにした。

帰りの会の時
発表の仕方

さんは、

みんなの様子をよく見て、大きな声で発言をかけることを

がんばっていました。よかったです。

○今まで気付いていなかった友達のよさや
がんばりに気付くことができた。

デジタルカメラ活用後の児童の感想

- ・デジタルいいとこさがしをやる前よりも、たくさんいいところが見付けられたので、やれてよかったと思った。
- ・デジタルいいとこさがしをしてから、一生懸命助け合っ
て活動しているところが増えた。
- ・今度は、写真を撮らないでも、自分でしっ
かりと見付けたいと思った。
- ・これからもみんなのいいところを見付けて、
このクラスをいいクラスにしたいと思う。



協力校の教師の感想

- ・デジタルカメラで写真を撮る活動を続
けたことによって、友達のよさをとらえ
る写真のアングルが良くなった。
- ・いいところを撮ろうという学級の雰囲気
がよくなって、友達のいいところを撮ろ
うという意識にも変化が見られた。
- ・活動に慣れてきたら、
互いに言い合うのがい
いことだと分かってき
た。



○コミュニケーションができて、互いに思
いやる共感的な姿勢をもつことができた。

友達のよさを見付ける活動後の児童の感想

- ・掃除の時間、給食の時間など写真を撮って、あまり話し
たことのない子ともいろいろ話せてとっても楽しかった。
- ・写真を撮ったら、よく遊ぶようになった。
- ・こういう活動があったら、友達と協力できると思った。
- ・友達と仲よくなったと思った。



“相手を思う気持ち”について 児童の感想

- ・デジタルいいとこさがしをしてから、今
まで気付いていなかった友達が、一生懸命
がんばっているのが分かりました。

○自他のよさや可能性に気づき、
互いのよさを認め合うことができた。

よさを伝え合う活動後の児童の感想

- ・友達のいいところや学級のいいところっていっぱいあ
るんだなあと思いました。
- ・友達がいっしょうけんめいがんばっていたんだなあ
と気付くようになりました。
- ・みんなが掃除や係の仕事がんばっていたので、わた
しも一生懸命がんばりました。



“自分のよさに気付いた”について 児童の感想

- ・帰りの会で自分の写真が映ると、自分でも
がんばってよかったなあと思った。

成果と課題

成果

- デジタルいいとこさがしによって、様々な場面で友達とかか
わる活動を意図的に設定したことにより、児童は多くの友達と
かかわる時間が増えて互いに尊重し、共感的な姿勢をもつこと
ができた。
- 児童が互いによさを伝え合う活動をするることによって、自他の
よさや可能性に気づき、互いによさを認め合うことができた。
- 学級全体で写真を共有しながら、友達のよさやがんばりの発表
を視聴することにより、児童のよさが学級に広まり、互いによ
さを認め合うことができた。

課題

- 児童の活動の定着や学級全
体に目を向けさせるために、
活動方法や活動時期・期間
を工夫して実践することで、
児童の意欲の高まりや持続
を考慮した「デジタルい
いとこさがし」を改善して
いきたい。